

# 積小為大

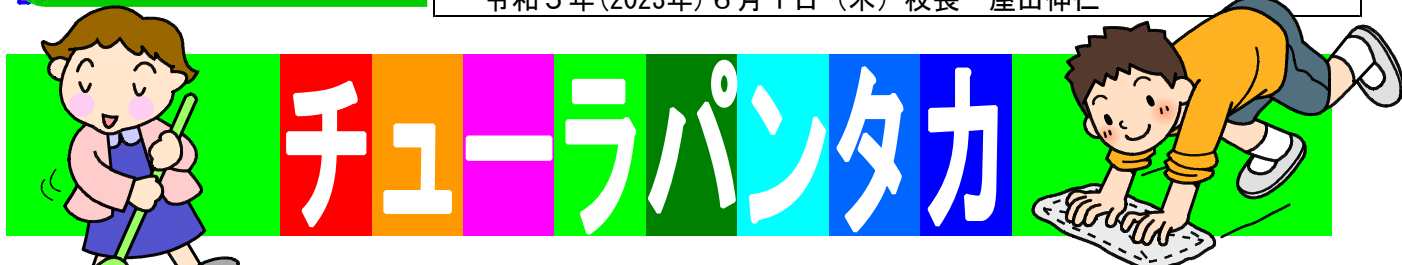
日章学園九州国際高等学校校長便り 水無月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：**継続は力なり**

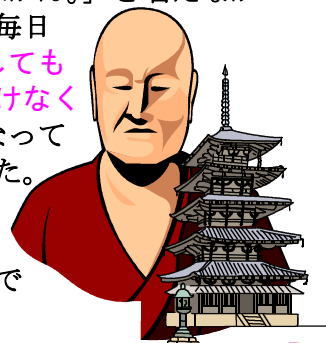
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和5年(2023年)6月1日(木) 校長 屋田伸仁



世界の学校で掃除が日課に取り入れられている国は、日本をはじめ少数の国々です。先日、テレビの某番組を見ていたら、「**学校で教室のそうじをするのはなぜ?**」という質問があり、ゲストは答えに迷っていました。果たして答えは何だろうと興味深く見ました。答えは「**チューラパンタカみたいになって欲しいから**」でした。しかし、ゲストの反応は「え、どういうこと?」でした。チューラパンタカとは、お釈迦様の弟子です。しかし、彼はお経が全く覚えられずに、他の弟子から馬鹿にされ、泣いていました。すると、お釈迦様が現れ、「塵を払い、垢を除かん。」と唱えながらお寺を掃除しなさいと助言されました。チューラパンタカはその教えを守って、毎日実行し、3年の月日が流れました。そして、ついに悟りを開きました。「**毎日掃除しても塵や垢は無くならない。これは、心の塵、心の垢と同じだ。だから、毎日、磨き続けなくてはならない。**」床を磨くことは、心を磨くこと。チューラパンタカの話がもとになって掃除が心磨きとして、お寺や学校でも取り入れられるようになったということでした。

もう一つ、私が感じたことは、お経を覚えることが苦手でも、掃除をひたすら続けたことで、悟りが開けたという点です。何事も、続けてやれば、ゴールの悟りに至る。つまり、「**継続は力なり**」は、「**継続は悟りなり**」と言ってもいいのではないでしょうか? チューラパンタカに聞いてみたいです。



## 過ぎたるは 猶お及ばざるがごとし

ノーベル賞受賞者の山中伸弥教授(京都大学)の趣味はマラソンだそうです。山中教授によると、マラソンも研究もペース配分が大切だそうです。ペースを上げすぎると研究も同じように途中で、だめになる。孔子も論語の中で、言っています。「**過ぎたるは猶お及ばざるがごとし**」何事もやり過ぎはだめですね。「**中庸**」が一番です。

さて、5月21日(日)は、3年ぶりの「**えびの京町温泉マラソン大会**」が実施されました。本校からは、19名の生徒と校長と教員の2名、計21名がエントリーしました。

当日は晴天でした。スタート前に、生徒達に長距離走のコツを伝授しました。「**中間のベスト**」のスピードをキープして走るのがコツだ。しかし、速く走りたいという自分の気持ちを抑えて、周りに惑わされずに走るのは思ったより難しいものです。前半は張り切り過ぎて、スピードオーバーし、後半はペースダウン。ついには歩く子もいました。それにしても、暑いぐらいの晴天で汗が流れ、中間の折り返し地点の真幸駅までは、激坂で足も悲鳴をあげました。それでも、完走できた生徒は達成感と充実感で笑顔が爽やかでした。

ゴールでは、ボランティアの方達が冷たい飲み物と「よく、がんばりましたね。」と笑顔で温かく迎えてくださり、苦しさも和らぎました。本校からは、64名の生徒達がボランティアスタッフとして、貢献してくれました。選手の皆さん、ボランティアの皆さん、お疲れ様でした。

本校の目指す学校像の一つが、「**地域に応援され、愛される学校になる**」ことです。今回のえびの市のマラソン大会を通して、一歩近づけたのではないかと、生徒達のがんばりを頼もしく思いました。

何事も  
中庸が  
大切ですね!

